

湖南省防災士連絡会 環境整備委員会（第2回）【記録】

令和3年7月15日（木）：19時30分～

於：サンライフ甲西 1F大会議室

1 出席者の確認（順不同、敬称略）

- ①福島 由美子（吉永） ②高間 茂治（ルモン甲西） ③谷口 茂雄（石部中央）
④有村 秀人（宮の森） ⑤澤田 吉宏（岩根東） ⑥伴 喜代和（菩提寺）
⑦佐々木 和之（三上台） ⑧西谷 淳（下田東） ⑨山内 信貴（中山）
⑩野中 敦史（工業団地北） ⑪曾我部会長 ⑫栗津副会長

※ 第2回委員会にも、曾我部会長と栗津副会長が参加されました。

2 第1回環境整備委員会内容の確認

3 学校と地域の連携事例紹介（湖南省教委学校教育課 長谷川洋介参事様）

子どもたちに防災に対する興味を持ってもらうための活動。【実施時期：下半期】

<ねらい>危機管理防災意識を子どもたちに育て、将来の地域防災を担う人材の育成を図る。

案① 将来的には「リトル防災士育成講座（仮称）」等を展望するが、本年度は学校と防災士の連携協力がどこまで可能なのかを模索する。

案② 湖南省教委学校教育課の防災担当指導主事を迎えて各校の現状を把握し、案①について協議する。

(1) 案①・案②の方針に基づき、市教委学校教育課より長谷川参事を講師に迎えて、現状報告を受けました。

長谷川参事は、市内各小中学校にアンケート調査を実施され、「避難訓練・防災教育の内容」「防災教育を実施する上での課題」を資料として示されました。

資料からは、地域との連携について各学校での温度差があることが読み取れました。

(2) このことから、市内全小中学校を対象にして連携を模索するのではなく、多くても中学校区に1校程度のモデル校を決めて連携を進めた方がよいとの意見にまとまりました。

(3) 連携内容についての協議は、これからです。

案③ モデル校を決めて、実際に連携を行う。

- (4) 長谷川参事の資料には学校名が示されておらず、アンケートの際にも学校名を公開することが条件とはなっていないことから、どの学校をモデル校に願うかは、次回以降協議します。(長谷川参事にも参加していただきます。)
- (5) その場合予算化が必要となり、どれほどの予算が組めるかでモデル校の数も決まってくると思われまます。

4 活動内容報告会の実施と広報PR活動の具体化

(1) 活動内容報告会

区またはまちづくり協議会単位で報告会を実施し、本会の理解を促進していく。

【実施時期：下半期】

<ねらい>防災士の認知度アップと活動の活性化を図る。

案① 活発に活動している地域で実施し、他地域にも広げていく。

案② 活動が不活発な地域で実施し、テコ入れを図る。

(1) 先ず活動内容報告会のイメージの共有を図りました。

総会資料には説明として「区またはまちづくり協議会単位で実施し」とあることから、案①・案②共に「……地域で実施し」となっています。

第2回委員会が出された意見は、そうではなく市全体を対象として、各区長や各区の防災士代表複数名を参加対象に実施した方がよいという意見でした。

(2) 活動内容報告会の実施形態としては「案③」ということになります。

案③： 湖南省内の各区長・防災士代表等を対象に実施し、活発に活動している地域の事例発表等により、市全体へ広げ活動の活性化を図る。

(3) 9月15日(水)実施の第3回委員会において、案③の方向で実施内容を検討します。

(2) 広報PR活動

…<資料別添>

本会のHP、広報こなん、湖南省HPに掲載、できれば全区回覧を通じて、本会認知を図る。【実施時期：年2回】

<ねらい>プッシュ型情報発信により、地域住民への防災士の認知度アップを図る。

案① 湖南省HPに本会HPをリンクさせる。

案② 広報こなんに取りあげてもらおう。

案③ 本会独自の広報紙「こんにちは防災士会です(仮称)」を発行し、自治会回覧を行う。

- (1) 環境整備委員会の広報PR活動の目的・守備範囲を確認しました。
環境整備委員会が行う広報PR活動の目的は、地域住民への認知度アップにあります。
従って、第1回記録にある「案①・案②・案③」を実行する方向で、内容を検討します。
- (2) 案①については、既にリンクされています。市民の方が市のHPにつながった際に、本会HPを更に分かり易くするための方策については、危機管理防災課と協議します。
案②については、昨年度の「広報こなん10月号」を参考に、「湖南省防災士連絡会」の部分を環境整備委員会が担当します。
- (3) 案③については、本年度の新規事業であり、具体的な内容には踏み込みませんでした。第3回委員会で深めます。
本会独自の広報紙発行についても、予算化が必要であると考えます。

5 環境整備委員会メンバーのライングループ作成

※ ライングループのメンバーが1名増えました。

6 その他

(1) 今後の予定

8月19日(木) 19時～

湖南省防災士連絡会 第3回幹事会

9月15日(水) 19時30分～

第3回環境整備委員会

<サンライフ甲西 1階大会議室>

避難場所に持っていくものリスト

非常用持出袋に入れて、避難の際すぐに持ち出せるようにしましょう。

- 貴重品(現金、通帳、印鑑、免許証など)



- 3日分程度の水・食料



- 医薬品



- 衣類(下着、タオルなど)



- 携帯ラジオ(FMが聞けるもの)



- 懐中電灯(予備の電池も)



また、マスクやアルコール除菌用品、体温計、ゴミ袋(密封できるもの)なども、自ら持参するようお願いいたします。

10月のJアラート訓練

防災行政無線による訓練放送を行います。

■日時

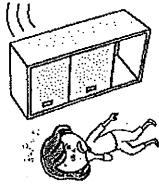
7日(火)午前11時頃

28日(水)午後2時頃

家庭で地震

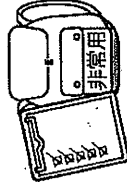
その1 家具などの転倒を防ぐ

自分自身がケガをしてしまったり、家具の下敷きになったりしては、家族や周りの人々を助けてあげることができなくなってしまう。重いものは高いところに置かないことや、家具が倒れないようにするなど、普段から対策に努めましょう。



その3 非常持出品の用意を

最低でも3日分以上の水・食料を備蓄するようにしましょう。飲料水の場合は、一人当たり1日2〜3リットルが必要です。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスク、消毒液、体温計なども持出品に加えましょう。



その2

災害時合場所や言ダイヤル

※災害用留守番に電話可能もありません

湖南 ~助けられる人から、助ける人へ~

湖南市防災士連絡会は、自助、共助の原則のもと、会員の防災・減災による相互連携を図るとともに、地域住民の防災・減災に対する意識向上を目的に組織されました。

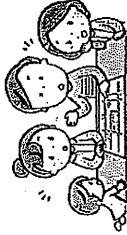
各区の防災士を通して市民の皆さんのお役に立てるよう頑張っております。防災士連絡会では、ロゴマークを募集しています！詳しくはホームページ // konan-bousai.com/

いざという時に被害を最小限に抑えるためには、普段からの準備が大切です。

防災

家族と連絡がとれる状況を

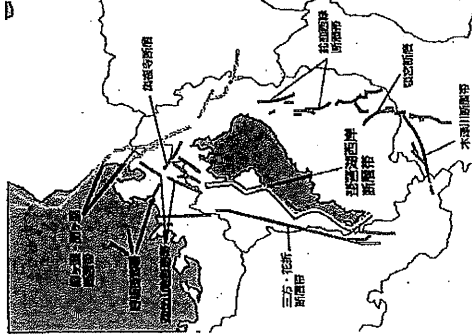
に家族と合流できるように、あらかじめ連絡方法を決めておきましょう。災害用伝言ダイヤル*の利用方法も確認しておきましょう。



伝言ダイヤル電話のようにメッセージを残すことができます。災害発生時に開設され、171番かけることになります。パソコンやスマートフォンなど、インターネット接続から災害用伝言ダイヤルと相互に利用できる「災害用伝言板(Web171)」

避難場所や経路の確認を

ク線、電柱など、避難経路には危険なところがあります。区、自治会などの避難場所、市の緊急避難場所に加えても確認しておきましょう。新型コロナウイルス感染症などの流行時は、大地震発生時も、自宅が安全の防止につながります。



活断層位置図 出典: 湘南防災協議会

「まちか」は突然やってくる

湘南防災協議会
TEL: 2311
TEL: 2000

「まちか」は突然やってくる

■災害は地震が怖い

多く「災害は地震が怖い」と言われます。しかしながら、地震を引き起こす活断層は県内でも多く確認されており、決して安全とは言えません。

実際に県内の断層帯である「湘南活断層帯」を調査する地震は、市内でも最大でM2.0程度の地震が想定されています。